

すがもらいぶらり

2021年1月5日 巣鴨図書館発行

富士山
見えますか？



じぞうさんぽは
「富士塚」
を取り上げています。

新年あけましておめでとうございます。

令和になってからの年始は必ずしも祝うというムードではなかったかもしれませんが、しかし今年も、誰もが、希望に満ちた年でありますように思っているはず。皆さまの豊かな未来の一助になるように、巣鴨図書館職員一同さらなるサービス向上に努めてまいります。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

今回は、郵便ポストを取り上げさせていただきます。豊島区内には、普通の赤いポストではなくその地域の特性に合わせて、ちょっとデザインの違うポストがあります。その一つ目は、隣駅駒込北口にある「ソメイヨシノポスト」です。ご存じのとおりソメイヨシノ発祥の地は「駒込」です。それを広く皆さんに知ってもらうために設置されました。二つ目は、南池袋一丁目25番にある「鬼滅の刃ポスト」です。お子さんたちはもとより大人の方にも大人気のアニメに彩られたポストです。最後は、東池袋一丁目17番にある「ふくろうポスト」です。この場所は前の区役所本庁舎のすぐ近くということもあり、平成26年に設置されました。お正月に暴飲暴食をされた方は、ポストをめぐる散歩に出かけてはいかがでしょうか。

(注) 鬼滅ポストは1月15日までの設置です。

(館長)



じぞうくん

今年の抱負。
「良き出会いを
ふやすこと！」
幸せな年
になりますよう！

イラスト作 S

1月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1 休館
2 休館	3 休館	4 休館	5	6	7	8
9 新刊お話し会	10	11	12	13	14	15
16 新刊お話し会	17	18	19	20	21	22
23 新刊お話し会	24	25	26	27	28 休館	29
30 新刊お話し会	31					

「りんごの棚」クイズが
始まります！

<日曜>新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！

おはなし会は、事前申込制で
11時からと14時からの
2回です。

編集後記

巣鴨図書館は、人に優しい図書館を目指しています。そのために必要なハードウェア・ソフトウェア、そしてヒューマンスキル、少しずつ向上させていきますので、どうぞ皆さま、ご来館くださいませ！今年もたくさんのご利用、ありがとうございました。

(M)

1階児童室に できました！



「りんごの棚」ってなんだろう？

「すべての子どもに読書のよろこびを届けたい」という願いから、1993年にスウェーデンの図書館で始まり、世界各地に広まっているサービスです。特別な配慮を必要とする子どものために作られたりんごのおもちゃが名前の由来です。

通常の活字や紙の本が誰にとっても読みやすく便利なものとは限りません。文字を読むこと以外にも楽しめる、さまざまな種類のバリアフリーな本を集めた棚です。

「どんな本」が置いてあるの？

★点字がついた絵本

挿絵の色も凹凸やドット等でわかる工夫をしています。

★さわって楽しむ本

凹凸やざらざら、ふわふわ…いろいろな感触を楽しめます。

★大きな文字の物語

見やすさを重視した大きなゴシック体の活字で名作や人気の本が読めます。

★LLブック (LLはスウェーデン語「Lättläst(やさしく読みやすい)」の略) ピクトグラムや写真、簡単な言葉を組み合わせ、読みやすく作られています。

★布の絵本

パーツを動かしたり、ボタンかけやひも結びもできます。

★その他

初めて手話を学ぶ子ども向けの本、障がいを理解する本、ピクトグラムや写真を使った「やさしい図書館の利用案内」も置いてあります。(N)

リーディングトラッカー
～利用体験ができます～

リーディングトラッカーは読み書きが困難な方や視覚障害の方に特に効果を発揮しますが、誰もが使えるツールです。

本を読んでいると、今どこを読んでいるのかわからなくなる時はありませんか？ そんな時にリーディングトラッカーをあててみると、読んでいる行に集中することができます。どの色が読みやすいかは人それぞれ。りんごの棚に6色を用意しました。自分が読みやすい色を体験して探してみてくださいね。

食いしん坊司書の部屋



今回は、巣鴨図書館の貴重なマガジナリアにご登場いただきました。

<新年にあたって>

明けましておめでとうございます。今年も巣鴨図書館をよろしくお願いいたします。

さて、私は「すがもらいびらり」初投稿です。この文を書いている時点では少し落ち着きつつありますが・・・2020年から始まって、2年ほど続いているコロナ禍の影響で外出や旅行にもまだ行きづらいような日々を送っているかと思えます。

私もその一人ですが、自宅で日々を過ごしています。今思い出すと少し前のような話にも聞こえるのですが、一昨年の初めての緊急事態宣言で巣鴨図書館が休館となった際に自宅で始めたことがあります。

それはコロナ禍のよくある話で・・・自宅でできる軽い筋トレです。2020年以前の今までの暴飲暴食（特に暴飲のほう・・・）と日頃の運動不足による筋力の低下を自分でも感じていたために、「緊急事態宣言」が自宅で筋トレを始めるきっかけになりました。そして、始めるにあたって参考にしている『みんなで筋肉体操』。某TV番組で紹介されたトレーニングメニューが収録されていて付録としてDVD付きです。上半身と下半身の全身トレーニング合わせても20分ほどで無理なくできるところが継続できてオススメです。

でも、いきなり張り切って始めると翌日には筋肉痛が確実なので、自己責任でお願いします（笑）

(H)

おすすめ本

『みんなで筋肉体操』
NHK「みんなで筋肉体操」制作班／著
谷本道哉／筋肉指導 ポプラ社
(780 タ)

じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。心にうつりゆくちょっとした疑問をここでつぶやいていくよ。



じぞうくんが川へ行くとかっぱくんがいません。

じぞう あれ、かっぱくんがいないなあ。

かも かっぱくんはきゅうりが流れているのを見つけて、追いかけていきましたよ。

じぞう ……河童の川流れ。

かも 意味は違いますけどね。

じぞう はじめましてだよね？

かも はい。私はかも。かっぱくんの友だちです。

じぞう かもさんはカルガモ？詳しく知りたいな。

かも では図書館へ行きましょう。

図書館の児童室に着いたじぞうくんとかもさん。

かも まずは、【鳥】コーナーに行こう。棚の見出しをみてごらん。

じぞう あった！『これがカモ！-カモなんでも図鑑-』だって。本の背に数字があるよ。【488】って。

かも それはNDC^(※1)といって、図書館にある本にはついています。この番号は日本にある図書館共通だから、好きな棚の数字を覚えておくと、便利ですよ。

じぞう そうなんだ。あとは絵本も読みたいな。

かも じゃあ、この『かもさん おとおり』という絵本をどうぞ。私たち、かもの視点も楽しめるんです。日本での出版は1965年。長く読み継がれているんですよ。

じぞう おもしろそう。あ、ぼくも鴨が出てくる本を思い出したよ！ 椋鳩十が書いた『大造じいさんと…』

かも 『がん』な。かもじゃないぜ。

※1 日本十進分類法。(Nippon Decimal Classificationの略)

かもくんのおすすめ本はこちら

『これがカモ！-カモなんでも図鑑-』
大日本図書【488】
『かもさん おとおり』福音館書店
ロバート・マックロスキー/ぶん・え
わたなべしげお/やく 【E 77】
『大造じいさんとがん』理論社
椋鳩十/作 あべ弘士/絵【E 47】

じぞうさんぽ

<ご近所富士詣で>

『富士塚』をご存じでしょうか。富士山を信仰する人々の集まり『富士講』が、富士山の遥拝所として各地に造ったミニ富士山のことです。実は豊島区にも2つの富士塚があります。今回は、初詣でもお勧めな、区内の富士塚を巡ります。

出発は、有楽町線千川駅4番出口から。要町通りを池袋方面に少し戻り、自動車販売店の角を左折。千川と要町の境の道を進み、左手の路地の奥に鳥居が見えたら、そこを左折。駅から10分ほどで、最初の目的地、富士浅間神社に到着です。ここに文久2年(1862年)に築造された長崎富士塚は、昭和54年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。境内の手前は児童公園。奥に、石と金属の柵で二重に護られた小さな富士山があります。高さ8m、直径2.1m。本物の富士山の溶岩で覆われた山肌はゴツゴツしていて意外と急峻。常緑樹の低木の間に頂上を示す石祠や合目石、烏帽子岩、天狗など、様々な石碑・石像が立ち並び、所々散りばめられた銀杏の黄葉が鮮やかです。

遥拝後は、高松の住宅街の細道を抜けて山手通りへ。高松郵便局前の横断歩道を渡り、谷端川緑道を北上、川越街道を越えて5分ほどの中丸橋を右折。池袋本町2丁目の子育て地蔵尊の祠に立ち寄り、小一時間で次の目的地、池袋氷川神社に到着。境内奥の本殿の向かって左に、池袋富士塚があります。築造は明治45年。高さ5m、幅1.5m。柵越しですが裏側も見られます。登山口で出迎えてくれるのは、可愛い石猿のご一家。登山道は正面につづら折りになっており、落合や小石川など、他の地区の講の石碑もあるのが特徴です。長崎も池袋も、登拝できるのは7月の山開きの時のみとのこと。次回はぜひ行ってみたいと思います。

最後は、先月ご紹介したダイヤデッキを再訪。晴天だったせいか、何と本物の富士山が拝めました！ 充実の富士詣でした。(A)

ともぼん

お供本

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介

『大江戸のお富士さん』 東京神社庁教学委員会
会富士信仰研究部会 (163 才)

『東京まちなか超低山』 中村みつを/絵と文
ペリかん社 (291.3 ナ)

『生活と文化 第1号』 豊島区教育委員会
(XK0 383)